

ていげんこうそう きにゅうようしき
提言構想メモの記入様式

なまえ 名前	李 方舟
タイトル	がいこくじんしんりごじょかい 外国人心理互助会について
ないよう 内容	がいこくじんのかたがた いじ しえん がいこくじんしんりごじょかい せつりつ 外国人の方々のメンタルヘルス維持を支援するため、外国人心理互助会を設立し たいと考えています。 がいこくじん みな こころ けんこう いじ がいこくじんしんりごじょかい せつりつ 外国人の皆さんのが心の健康を維持できるよう、外国人心理互助会を設立したいと おも がいこくじんしんりごじょかい だれ じぶん かんじょう けいけん きょうゆう たが 思っています。外国人心理互助会では、誰もが自分の感情や経験を共有し、互 いに支え合うことができます。
りゆう 理由	ひと もんだい かか がいこくじん げんご かべや しゃかい 20~30%の人がメンタルヘルスの問題を抱えています。外国人は言語の壁や社会 とうごう かだい もんだい かか けいこう わたし 統合の課題により、メンタルヘルスの問題を抱えやすい傾向があります。私たちは がいこくじんしんりごじょかい つう がいこくじん じゅうみん しめん かんが 外国人心理互助会を通じて、外国人と住民を支援したいと考えています。
ひこう 備考	<p>1. もくでき 目的とタスク： がいこくじんしんりごじょかい せつりつ つう がいこくじん しんり ていきょう 外国人心理互助会の設立を通じて、外国人に心理サポートを提供します。 ひりんじょうでき このサポートグループは非臨床的なものです。 さんかしや しんこく もんだい いりょうかいこゆう ひつよう はんめい ばあい しんり 参加者に深刻な問題があり、医療介入が必要なことが判明した場合は、心理カウンセリングや医療機関の情報を提供します。</p> <p>2. ニーズ分析： わたし ゆうじん なか あつか けいけん ひと なんにん いま 私の友人の中には、メンタルヘルスの悪化を経験した人が何人かおり、今もなお くる ひと 苦しんでいる人もいます。</p> <p>3. 目標： ねんかん にん こうじょう しえん 2年間で10人のメンタルヘルス向上を支援する。 さんかしや げつ しんりしつもんひょう もち じこ ひょうか おこな さんかきかんちゅう かいぜん 参加者は3ヶ月ごとに心理質問票を用いて自己評価を行なう。参加期間中の改善 じゅうぶん が十分であるとみなす。 しゅうごうばしょ りべんせい たか よこはまし かわさきし 集合場所は、利便性の高い横浜市または川崎市とする。</p> <p>4. 対象者： かながわ しんざいじゅうしや おも がいこくじん 神奈川県在住者（主に外国人）</p> <p>5. 提供内容： がいこくじんむ ていきてき しんり かつどう 外国人向けの定期的な心理サポート活動</p> <p>6. 市場分析： げんざい がいこくじんむ しんり だんたい そんざい にほん しんり がつかい こうにん 現在、外国人向けの心理サポート団体は存在しない。日本には心理学会や公認 しんりしきょうかい すぐ だんたい そんざい だんたい ほんていあん もくでき がつち 心理師協会など、既に団体は存在するが、これらの団体は本提案の目的に合致しない。</p>

7. 組織体制：
責任者：2名

8. マーケティング計画：

チラシを印刷する。ソーシャルメディアとウェブサイトで情報を発信する。
よこはまこくさいぶんかこうりゅう くやくしょ はいふ
横浜国際文化交流ラウンジと区役所でチラシを配布する。

9. 運営計画：

当初は日本語と英語の両方で活動を行います。プロモーション期間の2ヶ月後から、プログラムは隔週で運営を開始し、需要に応じて調整します。
しゅうごうばしょ ひつよう ぱあい しみん
集合場所が必要な場合は、市民センターの会議室までご連絡ください。
このグループは相互支援グループであるため、専門家の指導なしでも実施できます。活動が進むにつれて、専門家の指導を求めることも検討します。

10. 財務計画：

会員は少額の会費を支払い、主に会場レンタルとプロモーション費用のための一定の補助金が支給されます。

11. リスク管理：

感情的または攻撃的な行動があった場合、事務局長が介入します。緊急対応：例えば、参加者が緊急事態に遭遇した場合は、119番に電話して救急医療サービスを受けます。

参加者数が多すぎる、または少なすぎる場合は、グループを複数のグループに分けます。

12. タイムライン：

提案が承認された後、準備を開始し、その後2ヶ月間のプロモーション活動を行います。その後、運営を開始し、少なくとも3年間継続します。

13. 評価と影響分析：

参加者数、満足度アンケート、心理尺度を用いて分析を行います。

14. 結論と提言：

21世紀以降、外国人を含む多くの方々の心理的問題が深刻化しています。特に外国人は、言語や文化の違いにより、孤立感や無力感を抱きやすくなっています。私たちは、心理的相互扶助グループを通じて、こうした方々を支援していくたいと考えています。